

叙勲

瑞宝双光章



ひらやまたつみ
平山竜美さん
(津川町今津)

昭和51年に小学校教諭となり、市教育委員会学校教育課長、倉敷教育事務所長などを歴任後、吉備中央町立豊野小学校、高梁小学校で校長として勤務されました。それぞれの立場において授業技術の研究や実践を行い、広い見識と高い理念に基づいた学校経営と、教育情勢を取り込んだ教育推進に力を注がれました。退職後もさまざまなかたちで県や市の教育への貢献をされています。

問 こども教育課 21・1508

山川ボランティア顕彰

地域社会福祉、保健環境衛生などの厚生分野のボランティア活動に取り組む個人を顕彰する「山川ボランティア顕彰」を受賞されました。



ふじもりのぼる
藤森旭さん
(巨瀬町)



たわとしかず
多和俊和さん
(松原町神原)



たかはしかずお
高橋和男さん
(成羽町成羽)

問 福祉課 21・0265

銀行との連携協定を締結

11月29日 高梁市役所

地域経済の活性化や地方創生などに向けて協力していくことを目的に、市は(株)トマト銀行、(株)ちゅうぎんフィナンシャルグループ、備北信用金庫と包括連携協定を締結しました。協定式には、藤澤副市長、同銀行 高木晶悟取締役社長、同グループ 原田育秀専務取締役、同金庫 岡田誠治理事長などが出席し、健幸都市たかはしの実現に向けて思いを一つにしていました。



(左から)藤澤副市長、高木取締役社長、原田専務取締役、岡田理事長

A R技術を活用した防災訓練

12月5日 高梁北中学校

A R(拡張現実)技術を活用し、浸水した場所から避難する疑似体験を高梁北中学校で行いました。訓練では生徒たちがA Rゴーグルを装着し、水深70cmまで浸水した体育館の映像を見ながら、風船などの障害物が配置されたコースを避難。生徒たちは「足元が見えず怖かった」「水の怖さを学んだ」などと話し、デジタル技術を使った訓練を通して、防災意識を高めていました。



装着しているゴーグル内の映像(写真右)